

副市長に聞く! vol.5

～行政を支える建設業の役割～

鹿屋市



■プロフィール
法政大学経営学部卒業。1978年に鹿屋市役所に入庁、企画財政部長などを経て2014年から現職。70歳。

鹿屋市は、人口10万人を擁する大隅半島の行政・経済・産業の中核を担う都市。東九州自動車道・鹿屋申良JCTから接続する大隅縦貫道も整備中で、人とモノの交流が一段と加速し地域産業の活性化や、交流人口の増加も期待される。こうした地域の状況を踏まえ、まちづくりに取り組み原口学副市長に市の魅力や建設業に期待することなどを聞いた。

(聞き手・水迫伸哉鹿屋支局長)

原口学 副市長

自衛隊施設の強靱化 ECI・設計施工を併用

地区単位で発注へ

防衛省 防衛省は、今後5年間で約4兆円規模の工事発注を見込む自衛隊施設の強靱化事業について、特に事業規模が大きな地区(基地、駐屯地)ではECI方式、比較的小さな地区では総合評価方式(設計付工事発注タイプ)を適用する。単体の地区だけでも多数の建築・改修が必要となるため、両方式とも個々の工事ではなく、地区単位でまとめて発注する。

20日に開いたゼネコン向けの意見交換会で明らかになった。発注方式などについて、26日まで意見を募る。その内容も踏まえ、最適な発注手法を検討する。自衛隊施設の強靱化は、全国283地区を対象としており、今後5年間で約4兆円の契約を予定。実際の工事

は約15年間に及ぶ見通しだ。全国を15エリアに分割し、10〜30地区をまとめて大まかな施工内容や工程を示すためのマスタープラン策定業務の委託に向けた手続きを進めている。20日の意見交換会では、入札・契約方式に

関する課題と、現在の検討状況を示した。大規模な基地・駐屯地を例に出し、1地区だけでも94件の建て替えと41件の改修が必要になり、個々の建物ごとに設計業務や工事を発注することが困難な現状を説明。このため、最低でも地区を発注の単

位とし、場合によっては近隣の複数地区をまとめて工事発注するとしている。その際、事業規模が大きい地区については、設計業務とは別に事業者が技術協力業務を受注し、その後工事の優先交渉権を得るECI方式を適用するとした。工事そのものは複数段階に分割し、複数年度にわたって随意契約するイメージだ。その際、監理技術者は1駐屯地につき一人とする。総合評価方式(設計付工事発注タイプ)では、設計と工事を一体的に総合評価方式で発注する。設計はゼネコンの設計部門か、もしくはゼネコンとコンソーシアムを組成する建設コンサルタントが実施することを想定。設計の進捗に応じて設計変更してから工事に着手する。

このほか、膨大な工事量の監督検査業務を円滑に行うための体制案も示した。ゼネコンが受注する業務の中に、設計や工事、監理だけでなく「監督官業務」を設ける。ゼネコンが品質管理や出来形管理に関する項目・管理基準をあらかじめ発注者に提出し、承諾を得た上で、品質証明業務を第三者に委託。この第

一次下請けも 施工実績に

各地方防衛局の発注工事への参加を促すため、工事発注時に設けている同種工事の施工実績に関する要件を緩和する方針も示した。元請け業者としてだけでなく、「防衛省発注の総合発注工事の一次下請け」としての企業の施工実績を認めるとした。



上山 成彦さん
プランテマタナカ

あのおとこの人

サーバーやセキュリティ管理、ISO業とプライベートを使い分けるために仕事を分岐にわたります。心掛は、リフレッシュは。休みの日には娘と動物園や公園で一緒に遊び、娘の笑顔が癒やしつつなっています。また、週3日は3kmのランニングで心も体もスッキリです。(鹿児島市)

業界 あれこれ

◆インフラマネジメントセミナーを開催
国土交通省九州地方整備局は28日午後3時30分から、福岡市の同局で地方公共団体職員向けの九州・沖縄ブロック「広域的・戦略的インフラマネジメントセミナー」を開く。同省が3月に作成した「インフラメンテナンスにおける包括的民間委託導入の手引き」の説明や先進事例(熊本県土名市、沖縄県宮古土木事務所)の紹介などがあ

新たな工業団地の早期完成を

本市には、日本最大級の規模を誇る「かのやばら園」があり、8haの広大な敷地に1500種、3万5000株のバラが植えられている。昨年は、ウェルカムガーデンやフォトスポット等を整備。今年、リニューアルオープン記念として「かのやばら祭り2023春」を開催し、多くの来場者にぎわった。

——地域の魅力を高めていくためのインフラ整備について。東九州自動車道も、20

21年に「鹿屋申良JCT」志布志IC間が開通。鹿屋申良JCTから接続する大隅縦貫道も整備中で、人とモノの交流が一段と加速し地域産業の活性化につながっている。このようなか、将来の鹿屋・大隅地域を支える重要な産業基盤となる。若者等の定着につながる新たな工業団地の計画を進めているところである。現在、グラウンドデザインとなる「基本計画」を策定中で、早期完成に向けた取り組みを進めている。また、スポーツによるまちづくりを推進するため、テニスコート10面と

建設業界に向けたメッセージ、魅力ある産業になるためのアドバイスは。

——建設業界に向けたメッセージ、魅力ある産業になるためのアドバイスは。地域のインフラ整備や地域社会の安全安心を確保する「地域の守り手」として、市民生活や地域経済を支える大きな役割を担っていただいている。特に、各地で発生する自然災害において、早期復旧に多大な尽力をいただき感謝している。

本市では、発注した建設工事において他の模範と認められる優良工事等の表彰を行っている。今後の建設業界の担い手となる人材の確保と育成を推進するため、若手技術者表彰も新たに創設した。今後とも、発注者と受注者双方で業界を盛り上げていきたい。

資格試験

給水工事技術振興財団は2023年度給水装置工事主任技術者試験を10月22日、九州や関西など全国8地区で実施する。受験料は2

給水装置工事主任 申込みは来月7日まで

万1300円。申し込みは7月7日まで。主な受験資格は、給水装置工事に関して3年以上の実務経験を有する者などを求めている。

試験内容は、①公衆衛生概論②水道行政③給水装置の概要④など8科目の中から出題。全60問とする。また、所有する技術検定により一部免除できる。

なお、試験会場については、9月上旬に発表予定。問い合わせは、同団体の試験課(☎03・6911・2711)まで。